

(案)

【新図書館基本構想 目次】

1.	はじめに
2.	構想策定の前提条件
2-1.	市立図書館の現状
2-1-1.	概要
2-1-2.	蔵書構成および蔵書数推移等
2-1-3.	蔵書場所
2-1-4.	利用状況
2-1-5.	定例行事の実施状況
2-1-6.	自動車文庫
2-2.	四日市市および整備予定周辺地域の概要
2-2-1.	四日市市の概要
2-2-2.	これまでの検討経緯、建設予定地等
2-3.	運営体制等
2-3-1.	運営体制等
2-3-2.	事業方針
2-4.	他都市等との比較
2-4-1.	類似規模都市との比較
2-4-2.	貸出密度上位 10%の市町村との比較
3.	市民ニーズ等の把握
3-1.	市民ニーズの把握
3-1-1.	市民全体ワークショップ
3-1-2.	中高生ワークショップ
3-1-3.	子育て中の方を対象としたワークショップ
3-2.	ボランティア団体および職員ニーズの把握
3-2-1.	ボランティア団体のニーズ把握
3-2-2.	職員ニーズ把握
4.	新図書館の目標像と理念
4-1.	新図書館整備に向けた課題
4-1-1.	資料面での課題
4-1-2.	運営・サービス面での課題
4-1-3.	施設・立地面での課題
4-2.	新図書館の目標像
4-3.	目標像実現のための新図書館の 3 つの理念

5.	理念実現のための基本方針と重点サービス
5-1.	基本方針①
5-2.	基本方針②
5-3.	基本方針③
5-4.	基本方針④
5-5.	基本方針⑤
5-6.	基本方針⑥
5-7.	基本方針⑦
6.	目標収蔵冊数等の検討
6-1.	目標収蔵冊数の検討
6-2.	蔵書構成方針等についての提案
7.	フロア構成、諸室構成等の提案
7-1.	フロア構成の提案
7-2.	諸室構成の提案
8.	管理運営手法の検討
8-1.	直営、業務委託等の比較検討
8-2.	開館時間と開館日等運営条件の検討
8-3.	必要人員の検討
8-4.	移動図書館の検討

2-1-2.蔵書構成および蔵書数推移等 (略)

現図書館では9類(文学)が多く含まれているが、地域資料・郷土作家・人権資料なども全体の10%弱を占めており、地方自治体の公共図書館としてバランスの良い蔵書構成といえる。しかしながら本市が工業都市であることを考慮すると、技術・産業等に占める割合がやや少ない点も否めない。技術・産業領域の蔵書の充実化によって、より住民の関心を引き出す、あるいは課題解決等に資する可能性も示唆される。

表2-1 市立図書館蔵書冊数

分類		一般書		児童書		合計	全体割合 (%)	
		冊数	割合 (%)	冊数	割合 (%)			
一般書・児童書等	総記	11,133	2.80	1,305	0.33	12,438	3.12	
	哲学	11,412	2.87	657	0.17	12,069	3.03	
	歴史	26,565	6.67	3,811	0.96	30,376	7.63	
	社会	35,901	9.02	3,217	0.81	39,118	9.83	
	自然	13,898	3.49	7,232	1.82	21,130	5.31	
	技術	18,770	4.72	2,373	0.60	21,143	5.31	
	産業	6,817	1.71	1,340	0.34	8,157	2.05	
	芸術	24,628	6.19	4,242	1.07	28,870	7.25	
	言語	3,975	1.00	716	0.18	4,691	1.18	
	文学	99,531	25.00	32,279	8.11	131,810	33.11	
	製本雑誌	4,586	1.15	90	0.02	4,676	1.17	
	紙芝居				1,314	0.33	1,314	0.33
	絵本				32,649	8.20	32,649	8.20
小計	257,216	64.61	91,225	22.92	348,441	87.53		
地域・郷土資料等	地域資料					25,191	6.33	
	郷土作家					1,375	0.35	
	参考図書					10,713	2.69	
	人権資料					8,679	2.18	
	外国語					3,684	0.93	
	合計					398,083	100.00	

※R4 市立図書館調べ

2-1-3.蔵書場所

現在の書庫等、蔵書場所を示す。書庫が多数分散している状況に加え、中には館外書庫も含まれることから、現状では円滑な書庫出納が困難であることが示唆される。

表. 2-2 蔵書場所

蔵書場所	蔵書場所（具体的な場所）	冊数	状態
成人	1 階成人コーナー	100,368	開架
児童	1 階児童室	47,796	開架
地域	2 階地域コーナー	7,682	開架
参考	禁帯本（館内利用のみ）	3,985	開架
人権同和	1 階人権コーナー	1,164	開架
郷土作家	2 階郷土作家コーナー（11 人）	1,375	開架
展示	2 階展示室	212	開架
小計（開架）		162,582	
書庫		148,561	閉架
書庫 2		3,963	閉架
児童書庫		49,694	閉架
館外書庫		39,695	閉架
小計（閉架）		241,913	
新聞		4,602	開架 + 閉架
その他	地図、官報、和綴、書庫 3	14,385	開架 + 閉架
合計		423,482	

※R4 市立図書館調べ

2-1-4 利用状況

(略)

令和元年2月より個人情報を過剰に所持しない等といった観点から、貸出券の有効期限を3年としたため、令和元年度以降の登録者数に影響を与えている。

登録利用者数の年代別分布を見ると、30代以降の登録者数が一定数存在するのに対し、13歳～22歳の登録利用割合は5%以下と低い水準である。中学、高校と進むにつれ不読率が上昇することが全国的な傾向として知られており、四日市市も同様の傾向にあるといえる。

表. 2-3 登録者人数（年齢別）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 割合 (%)
子ども	～6歳	1,602	1,484	1,474	1,515	1,591	6.6
	～9歳	2,317	2,069	1,871	1,761	1,450	6.0
	～12歳	3,151	2,524	2,300	2,072	1,372	5.7
	～15歳	3,279	2,143	1,949	1,637	806	3.4
	～18歳	2,866	1,259	1,154	942	479	2.0
	小計	13,215	9,479	8,748	7,927	5,698	23.7
	指数	100.0	71.7	66.2	60.0	43.1	
成人	～22歳	2,512	1,361	1,397	1,218	872	3.6
	～29歳	3,827	2,115	1,957	1,812	1,484	6.2
	～39歳	8,164	5,476	5,182	4,768	3,769	15.7
	～49歳	10,691	7,370	6,792	6,060	4,180	17.4
	～59歳	5,864	4,072	4,066	3,800	2,772	11.6
	小計	31,058	20,394	19,394	17,658	13,077	54.5
	指数	100.0	65.7	62.4	56.9	42.1	
高齢者	～69歳	4,862	3,461	3,200	2,902	2,283	9.5
	70歳～	5,799	4,328	4,331	4,083	2,945	12.3
	小計	10,661	7,789	7,531	6,985	5,228	21.8
	指数	100.0	73.1	70.6	65.5	49.0	
合計		54,934	37,662	35,673	32,570	24,003	100.0
合計（指数）		100.0	68.6	64.9	59.3	43.7	

出典：四日市市立図書館概要

貸出冊数も登録者数と同様の傾向にあり、中学以降の貸出冊数は極端に下落し、その傾向は20代まで続く。減少の理由には中学校以降の学校生活の多忙等、様々な要因が考えられるものの、生涯にわたる読書活動等の促進のためには、より一層これらの年代へのサービス拡充が望まれる。

表.2-4 貸出冊数（年代別）

		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度 割合 (%)
子ども	～6 歳	72,405	69,588	69,924	78,434	89,495	10.7
	～9 歳	56,687	60,650	46,951	54,655	62,276	7.4
	～12 歳	37,382	36,633	32,985	37,488	43,668	5.2
	～15 歳	13,947	14,586	11,940	13,408	14,769	1.8
	～18 歳	7,895	7,285	5,482	5,537	6,296	0.8
	小計	188,316	188,742	167,282	189,522	216,504	25.9
	指数	127.7	128.0	113.4	128.5	115.0	
成人	～22 歳	10,356	9,646	10,571	9,346	8,612	1.0
	～29 歳	27,690	22,904	20,856	21,964	23,938	2.9
	～39 歳	128,840	117,917	105,906	116,392	126,113	15.1
	～49 歳	171,092	164,811	136,560	144,502	155,010	18.5
	～59 歳	102,129	99,758	84,718	88,640	97,325	11.6
	小計	337,978	415,036	358,611	380,844	410,998	49.1
	指数	121.8	114.9	99.3	105.4	93.4	
高齢者	～69 歳	111,358	104,231	90,034	85,154	91,388	10.9
	70 歳～	97,382	103,573	99,737	104,892	118,266	14.1
	小計	208,740	207,804	189,771	190,046	209,654	25.0
	指数	126.3	125.7	114.8	115.0	100.4	
合計		837,163	811,582	715,664	760,412	837,156	100.0
合計（指数）		100.0	96.9	85.5	90.8	100.0	

出典：四日市市立図書館概要

3-2-1 ボランティア団体のニーズ把握

研修用・作業用部屋の広さや配置、ロッカー等ボランティア活動に必要な機材の配置、照明やBGM、可変性のある部屋など、お話し会の用途によって雰囲気づくりができる空間が必要であるといった意見が得られた。

表 3-1 ボランティア団体ヒアリング結果

区分			意見
①録音奉仕の会			
活動諸室	広さ・面積		学校教室の半分くらいの広さがよい
			他団体と作業等のスペースを共有してよい
	位置		点字録音資料室担当事務室と作業室は近接しているほうがよい
	環境		対面読書室は利用者と1対1になるので、安全のためガラス張りで余計な物がなく、能率的に作業できる部屋がよい
			作業室か付近に機器やPCの入るロッカーを置いてほしい
	備品・機材		テーブルや椅子は扱いやすく、レイアウトが変えやすいものがよい
	その他		食事可能なスペースがほしい
②点訳グループくすの木			
活動諸室	広さ・面積		打ち合わせ等少人数用に区切ることができる50名程度入れる部屋
			ロッカー等必要備品のある10名程度の作業室がほしい
	備品・機材		職員と共有ではなく、ボランティア団体用の機材が必要
			活動に必要なPC等を自前で用意しているので、配慮してほしい
③児童室ボランティア			
おはなし室	環境		おはなしの方法によって、部屋が区切れるとよい
			明るさ、暗さが調整できるとよい。
			荷物置き場や、看板等大道具を片付けられる場所がほしい
	使い方		ストーリーテリングでは身を寄せ合い、靴を脱いで床に座って落ち着いて聞いてほしい
			聞いていないふりをしていても、近くで聞いているような子どもがいてもよい
活動諸室	環境		練習の音が漏れないように防音してほしい
児童コーナー全体	書架		大人にとって多少不便でも子どもの目線を優先させる書架
	スペース		隠れ家のようなスペースが何か所かあるとよい
その他	返却本情報		どのような本が読まれているか参考とするため、返却された図書が分かりやすいとよい
	職員配置		現図書館に引き続き、利用者へ声がけしやすいよう、児童担当職員を常に配置してほしい
	研修等		ボランティア活動が充実する勉強会や講演会があるとよい
④全体			
活動諸室	広さ・面積等		対面朗読室のようなスペースが各階にあるとよい
	区画		一般の利用者がボランティアルームに迷い込まないように
利用者動線	階移動		児童や障害がある人はあまりエスカレーター、エレベーター移動がない方がよい
その他	研修等		視聴覚教育を視野に入れてほしい
	環境		階や用途によってBGMを流せるとよい

3-2-2 職員の意識調査・ニーズ把握

(略) 現状のニーズに即した蔵書構築等、新図書館に向けて継承していきたい取組内容が得られた一方で、書庫の狭隘化・分散による出納作業の手間や危険性、保存したい図書を除籍せざるを得ない状況があること、ICT 化の遅れ、自動車文庫の老朽化や巡回地点に関する限界といった問題点や課題の指摘がなされた。

①施設・空間面		
【継承したい点】		
全般	排架も棚もシンプルな並びで分かりやすい	
成人フロア	成人フロアの天井高により広さを感じられ音が許容されている	
点字・録音資料室等	点字・録音資料室の設置及び活動	
地域資料コーナー等	郷土作家コーナーの設置と地域資料の収集・活用	
展示エリア等	展示エリアの活用による書庫資料の活用	
児童コーナー	カウンターから児童室内を一望できる環境	
【改善したい点】		
全体	建物の老朽化、書架間が狭隘で バリアフリー対応が不十分	
ボランティア関連	ロッカー等がなく、ボランティア団体に対する配慮が不足	
管理作業スペース	図書修理をなど作業等に必要スペースが不足	
閉架書庫	書庫狭隘化が進行（除籍しないと本が入らない状況）	
	閉架の書架が高く作業に危険	
	館外を含め書庫が分散（出納に手間や時間がかかる）	
	館外書庫は良好な資料保存状態にない	
駐車場	駐車場不足	
②資料構成面		
【継承したい点】		
蔵書構成全体	合議による多様な視点での資料収集。良好な蔵書構築を実現	
基本書	資料費を確保し、基本書が揃っている	
児童・展示資料等	児童図書・地域資料・点字資料・デジジ資料等に対する目配り	
貴重資料	県内図書館のなかでは貴重資料を多く所蔵、保存	
リクエスト対応	月に 1 冊と制限はあるものの、購入のリクエストにほぼ対応	
③利用者サービス面		
【継承したい点】		
全般	図書館員による日常的な業務の創意工夫を展開	
コミュニケーション	日常的に職員と利用者の密なコミュニケーション、声掛けして、利用者満足や安全性確保を実現	
資料提供等	利用者による検索をうのみにせず、より適した資料を提供	
企画・広報等	市民 参加型企画等の企画や広報の工夫	
移動図書館	自動車文庫によるアウトリーチサービスの実施	
④運営面		
【継承したい点】		
運営体制等	全職員全員の得手・不得手、体調の把握等のもとでのシフト構成 各部門の担当職員のスキルの高さ、お互いの意思疎通が容易	
【改善したい点】		
蔵書方針	明文化された蔵書構築方針が示されていない	
業務全般	土日は事務作業を行う時間が皆無なほど、多忙な業務状況（ICT 化により、利用者向けの図書館サービスは向上したが、職員数増にもかかわらず作業量の増加に対処できていない）	
	定期的な作業と、館外講座等の突発作業との作業量の不均一	
人員配置・雇用等	適材適所に人材を配置できていない 職員が継続雇用されないため、経験や知識を引き継がない	
DX 化	職員のシフト作成や利用者への連絡、図書（物品）の追跡等、他業種では自動化している類似業務の DX 化等の遅れ	
自動車文庫	移動図書館車の車体規模・巡回地点は現状では適切だが、車幅により通れない道も存在。車両の性能不足・老朽化が顕著	

新図書館に対して求めるものとして、ICT 化による業務効率化やミスの防止、資料保存に関する視点、駅前立地による利用者層の変化とそれに対する期待、複層フロアからなるがゆえのコミュニケーション支援がより必要であること等の意見が得られた。

【期待する点】		
	全般	エントランスの余裕や書架高への配慮による利用者へのくつろぎ感の醸成
	カウンター位置	カウンター配置位置による、フロア全体の利用者状況の可視化・把握の容易化
		自動貸出機の設置場所等をカウンター近くとすることで、現図書館で実現できている職員と利用者のコミュニケーションを担保
	閉架書庫	書庫の拡充、自動化書庫の導入等による保存可能冊数の増加
	DX化	ICT 化による図書の配架間違いの防止等、人的ミスの削減を実現
		IC タグを活用した予約図書受け取り、蔵書管理といった業務の効率化を期待
		予約本置き場、自動貸出機の複数設置による利用者一組あたりへの対応時間の削減
	利用者層	駅前立地による生徒・学生の利用者数増加の期待
	障害者サービス	老眼鏡やルーペ、リーディングトラッカー等の各階配備等、障害者サービスの拡充
【懸念する点】		
	閉架書庫	開架や公開書庫が多くを占めると、閉架で保存しておくべき価値のある図書が劣化
	駐車場	駐車場が遠いことから（特にベビーカー等）利用者の図書の持ち運びが困難
	移動図書館	移動図書館車への本館図書の積み込み困難が発生する可能性
	コミュニケーション	複層構造によって縦移動が難しくなり、職員同士の連携が困難となる可能性
		時差出勤や複層構造による職員同士のコミュニケーションの阻害

4-1 新図書館整備に向けた課題

4-1-1. 資料面での課題

(1)質・量ともに充実した資料の確保

- 現図書館は築 50 年が経過しており、収蔵能力 30 万冊に対し、蔵書冊数は約 40 万冊を超えるなど、老朽化とともに所蔵能力を大幅に超過
- 出納作業には危険が伴い、館外書庫も存在するなど、安全・円滑な出納作業に支障
- 類似規模の自治体と比較し、奉仕人口一人当たりの蔵書冊数、登録者、資料費、貸出冊数等の水準が低いため、圏域を牽引する中核的都市としての役割にふさわしい規模の蔵書と資料保存機能が必要

(2)四日市らしさ、四日市ならではのニーズを体現した蔵書構築

- 文学を中心とした蔵書から、社会状況の変化を踏まえた蔵書構成への対応が必要
- ビジネス支援、健康情報の提供、コミュニティの形成支援などを念頭においた、図書に限らない多様な情報源の収集と提供
- モノづくりの都市にふさわしい、紙媒体と電子媒体を組み合わせたハイブリッドでかつ、多様な分野の情報提供

4-1-2. 運営・サービス面での課題

(1)小学校から中学校・中学校から高校等、移行に応じたサービス展開

- 中学生・高校生等の登録者人数がきわめて低いことから、利用機会の喪失を防ぎ、生涯の図書館利用の推進が必要
- 現図書館の提供サービスと、利用者ニーズとのギャップを把握した上でのサービス展開

(2)保護者等、幅広く包含した児童・子育てサービスの提供

- 四日市市は子育て世代の転出が多くみられることから、性別を問わず育児参画が求められる現代の社会状況を踏まえ、子ども・保護者向けのサービスをシームレスに展開

(3)共創、協業の場の提供

- コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大により、遠隔コミュニケーションがより容易になったことをふまえた「場」としての価値をより一層打ち出すような取り組みが必要
- 送り手から受け手への一方方向的なイベントの実施から、お互いに学びあい、教えあうようなコミュニティの形成支援

(4)単純作業の削減と図書館員の専門性の発露

- DX 等の加速を通じて、機械等で代替可能な単純作業については省力化し、図書館員の専門性が発揮できる業務に重点を置く体制構築が必要

4-1-3. 施設・立地面での課題

(1)学習ニーズの変化に対応した場の提供

- 現行のキャレル等の個人机から、ディスカッションやプレゼンテーションを行いながら共に学ぶような新しい学びのあり方に応じた学習空間の提供

(2)中心市街地活性化事業の核

- 「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画等の関連計画と呼応し、街中を回遊する利用者を創出することで、中心市街地活性化に寄与

(3)アウトリーチサービスの推進

- 現図書館は近鉄四日市駅から徒歩 12 分であり、立地状況等が利用障壁の一因
- 自動車文庫の車両規模等の都合から、通行困難な道路が多数存在し、出張依頼に応えられない現状があるため、市内全域により行き届いたサービスを展開することが必要

(4)バリアフリー等への配慮

- 高齢者や障害者、子連れ保護者、外国人市民などが安心して利用できる、幅広い利用者に対応できる身近な施設となることが必要

(5)ICT を積極的に活用した図書館サービスの推進

- 現図書館の優れた点として、きめ細やかな接遇や、図書館員同士のコミュニケーションによる日常的な研鑽があるが、新図書館では複層フロアであることから、各種 ICT 機材を活用し、利用者や職員同士のコミュニケーションを円滑にする仕組みが必要
- ICTは日進月歩である前提に立ち、新技術が社会実装された際の柔軟な対応可能性の担保が必要